

なんで上関に 中間貯蔵施設？



2026

9 / 6 (日)

開始14:00(終了16:00)

会場 玄米定食屋 らくだ

京王線「千歳烏山駅」徒歩5分
世田谷区南烏山6丁目8-7 楽多ビル2階

参加費：800円

要申込(定員30名)

定員に達し次第締め切ります

1982年から続く上関原発建設計画。その山口県上関町では2023年、使用済み核燃料中間貯蔵施設（中国電力・関西電力の共同事業）の立地可能性調査が始まりました。一方、今年3月には東京都小笠原村で、南鳥島を対象とした高レベル放射性廃棄物最終処分場の文献調査の話が持ち上がりました。その背景には、日本がこれから何万年にもわたって管理しなければならない「核のごみ」を、どこかの地域に引き受けてもらおうとする国の政策があります。私たちは、このまま「地方だから」「離島だから」という理由で負担を押し付けるような進め方を認めてよいのでしょうか。上関で起きていることは、決して一地域だけの問題ではありません。

ぜひご参加いただき、一緒に考えていただければ幸いです。

※祝島のピワ茶、クッキー付き。
お食事の注文は不要です。



Talk

進行：のえさん(上関どうするネット)

阿部 浩一さん
(合同会社うんすい宅建)



菅波 完さん
(ラムサール・ネットワーク日本)



高野 聡さん
(原子力資料情報室)



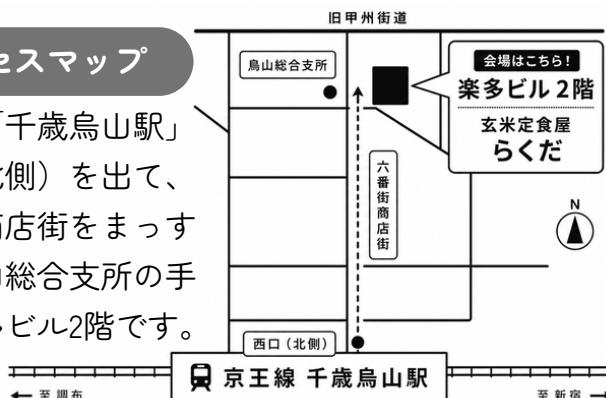
申し込み専用QRコード



<https://x.gd/VdL88>

アクセスマップ

京王線「千歳烏山駅」
西口（北側）を出て、
六番街商店街をまっすぐ。
烏山総合支所の手前、
楽多ビル2階です。



<問い合わせ> 上関どうするネット
kaminoseki.dousuru@gmail.com

上関どうするネットの活動はこちらのブログをご覧ください！
<https://kaminoseki.blogspot.com/>

